

令和3年度

大学院自然科学研究科博士後期課程進学率向上へ向けた

教員アンケート

集計結果

令和3年11月

新潟大学大学院自然科学研究科附属教育研究高度化センター

教育プログラム企画・検証改善部門

目 次

I	アンケート調査の概要	1
II	アンケートの集計結果	2
III	アンケート調査票	25

Ⅰ アンケート調査の概要

1 調査目的

博士後期課程進学者の増加のためその課題を抽出することを目的として実施

2 実施期間

令和3年8月30日（月）～9月30日（木）

3 実施方法

調査対象：大学院自然科学研究科担当教員
（学務情報システムアカウント取得者）

調査方法：学務情報システムアンケート機能を利用

4 回答状況

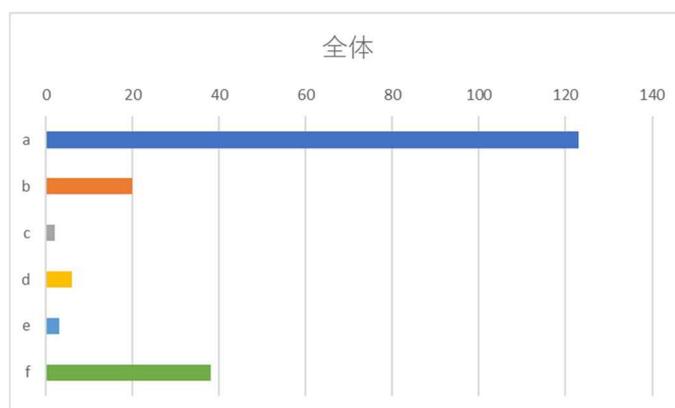
教員数： 285名 回答数： 192名 回収率：67.4%

II アンケートの集計結果

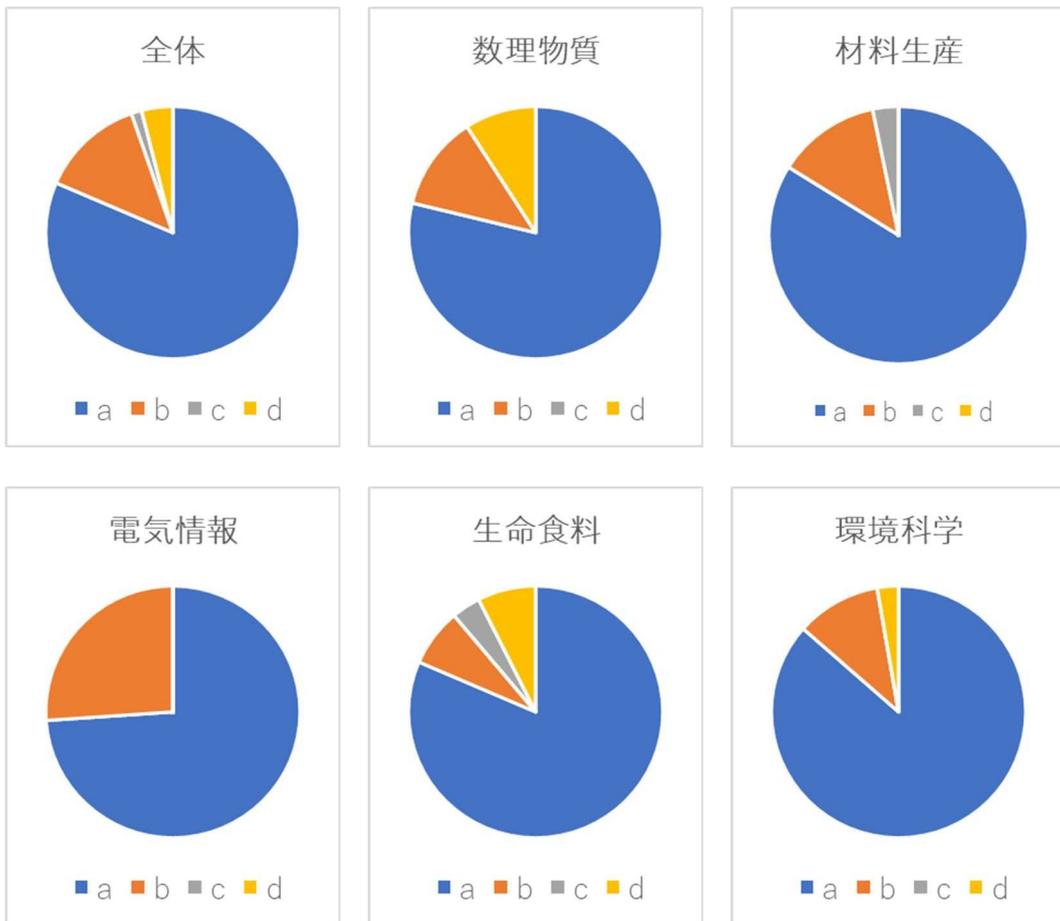
教員アンケート回答

博士前期課程学生（1人目）が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について
【所属別】

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:就職したい。(らしい)	26	26	17	22	32	123
b	2:新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。(らしい)	4	4	6	2	4	20
c	3:他大学大学院博士後期課程へ進学したい。(らしい)	0	1	0	1	0	2
d	4:未定(らしい)	3	0	0	2	1	6
e	5:知らない	0	0	1	1	1	3
f	6:いない	8	4	7	9	10	38

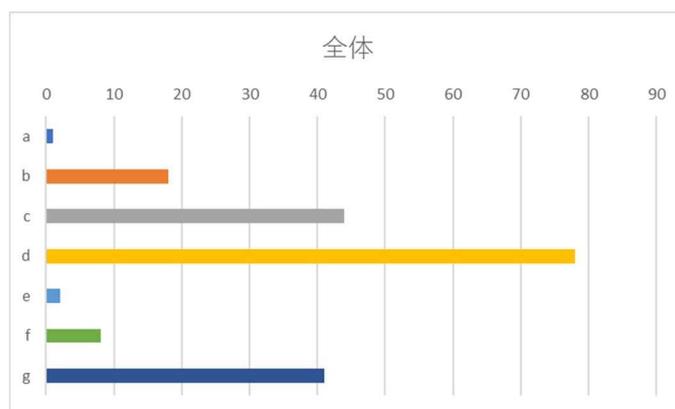


円グラフは「知らない」「いない」を除外した結果を表示

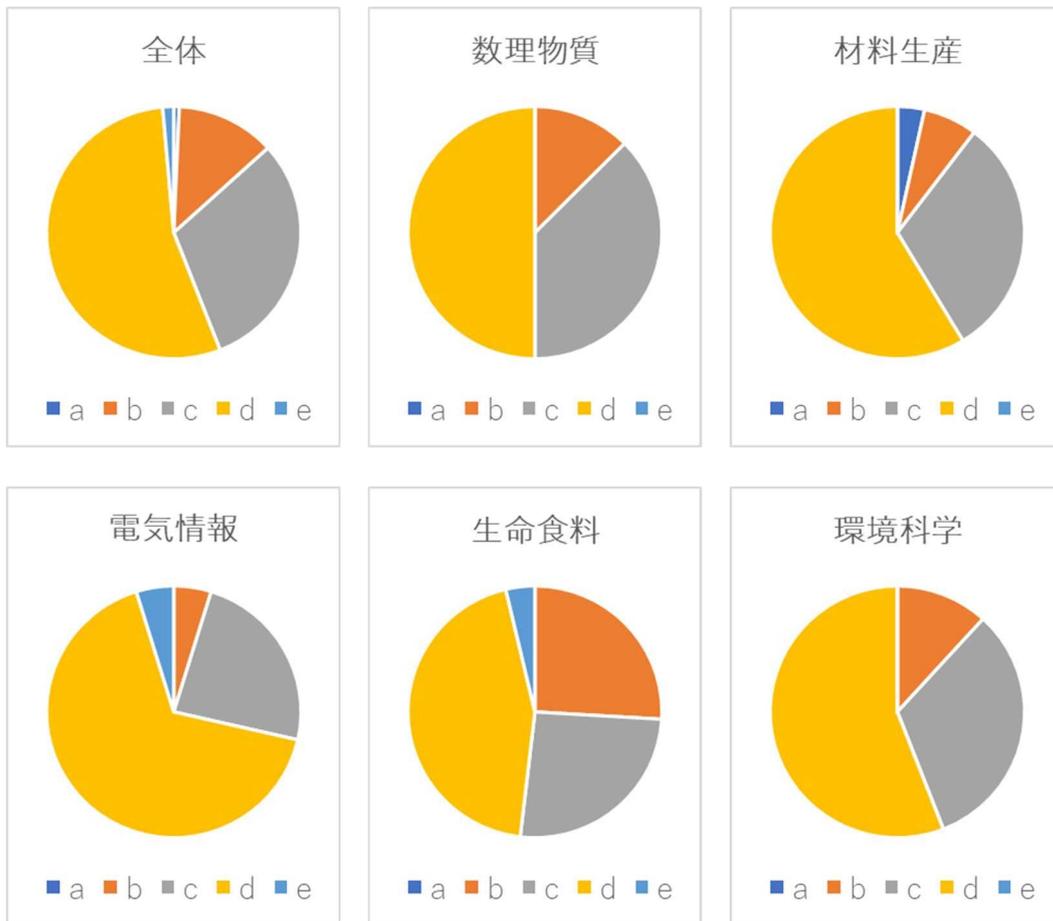


博士前期課程修了後の進路について、指導学生（1人目）の意思決定の度合い

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:とても迷っている。(らしい)	0	1	0	0	0	1
b	2:迷っている。(らしい)	4	2	1	7	4	18
c	3:あまり迷っていない。(らしい)	12	9	5	7	11	44
d	4:まったく迷っていない。(らしい)	16	17	14	12	19	78
e	5:まだ考えたことがない。(らしい)	0	0	1	1	0	2
f	6:知らない	1	0	3	1	3	8
g	7:いない	8	6	7	9	11	41

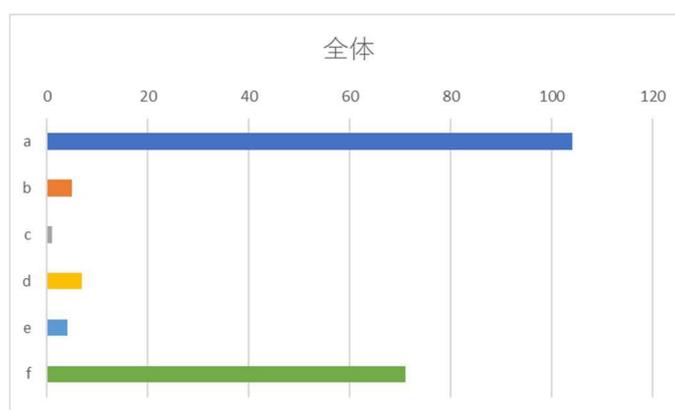


円グラフは「知らない」「いない」を除外した結果を表示

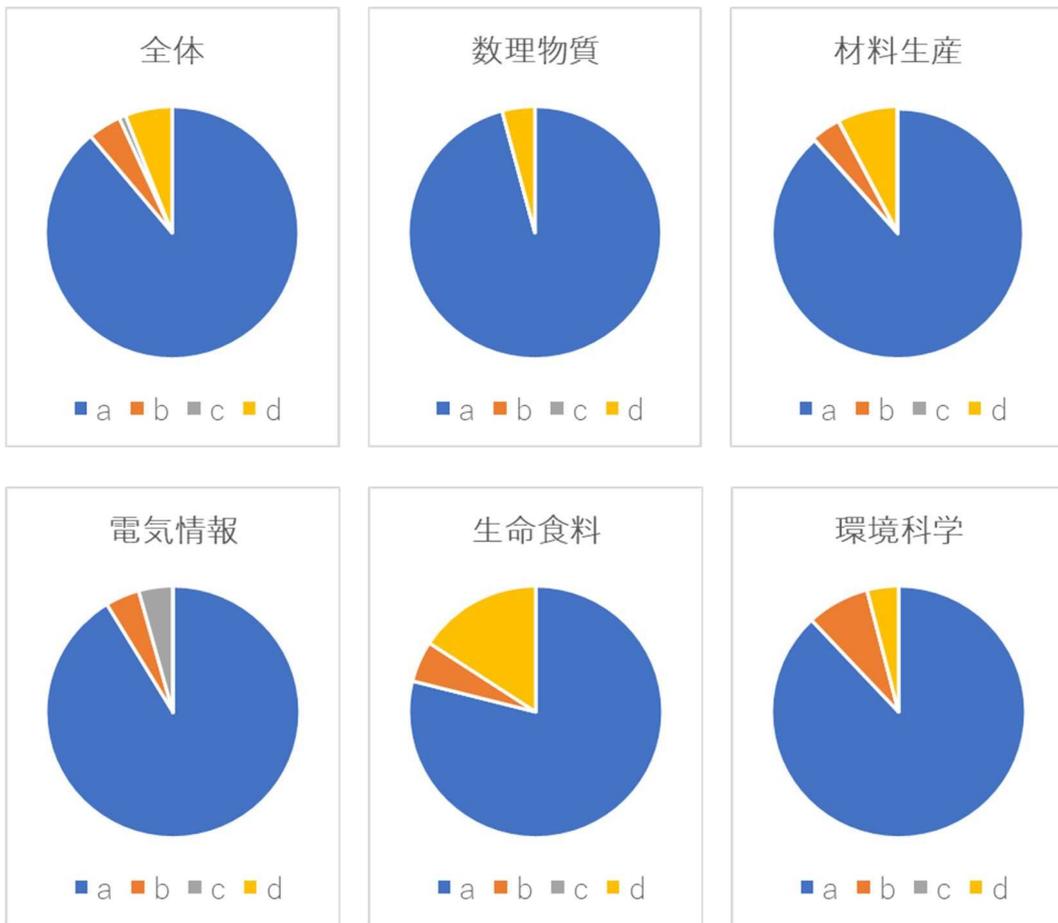


博士前期課程学生（2人目）が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:就職したい。（らしい）	23	23	21	15	22	104
b	2:新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）	0	1	1	1	2	5
c	3:他大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）	0	0	1	0	0	1
d	4:未定（らしい）	1	2	0	3	1	7
e	5:知らない	0	0	1	1	2	4
f	6:いない	17	9	7	17	21	71

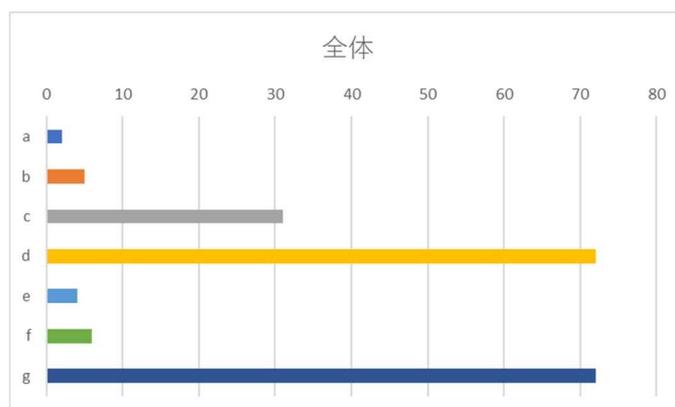


円グラフは「知らない」「いない」を除外した結果を表示

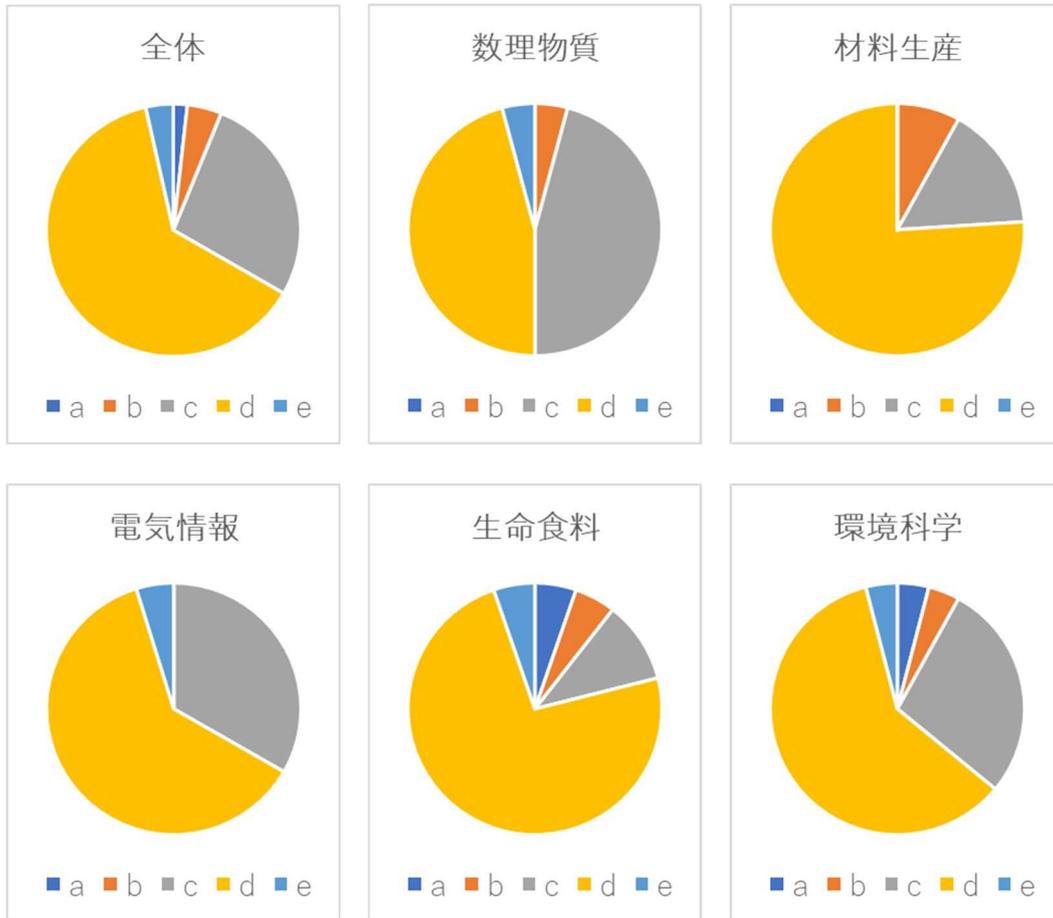


博士前期課程修了後の進路について、指導学生（2人目）の意思決定の度合い

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:とても迷っている。(らしい)	0	0	0	1	1	2
b	2:迷っている。(らしい)	1	2	0	1	1	5
c	3:あまり迷っていない。(らしい)	11	4	7	2	7	31
d	4:まったく迷っていない。(らしい)	11	19	13	14	15	72
e	5:まだ考えたことがない。(らしい)	1	0	1	1	1	4
f	6:知らない	0	0	3	1	2	6
g	7:いない	17	10	7	17	21	72

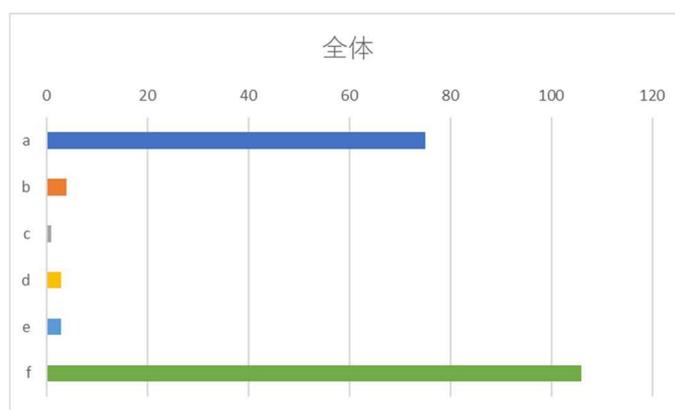


円グラフは「知らない」「いない」を除外した結果を表示

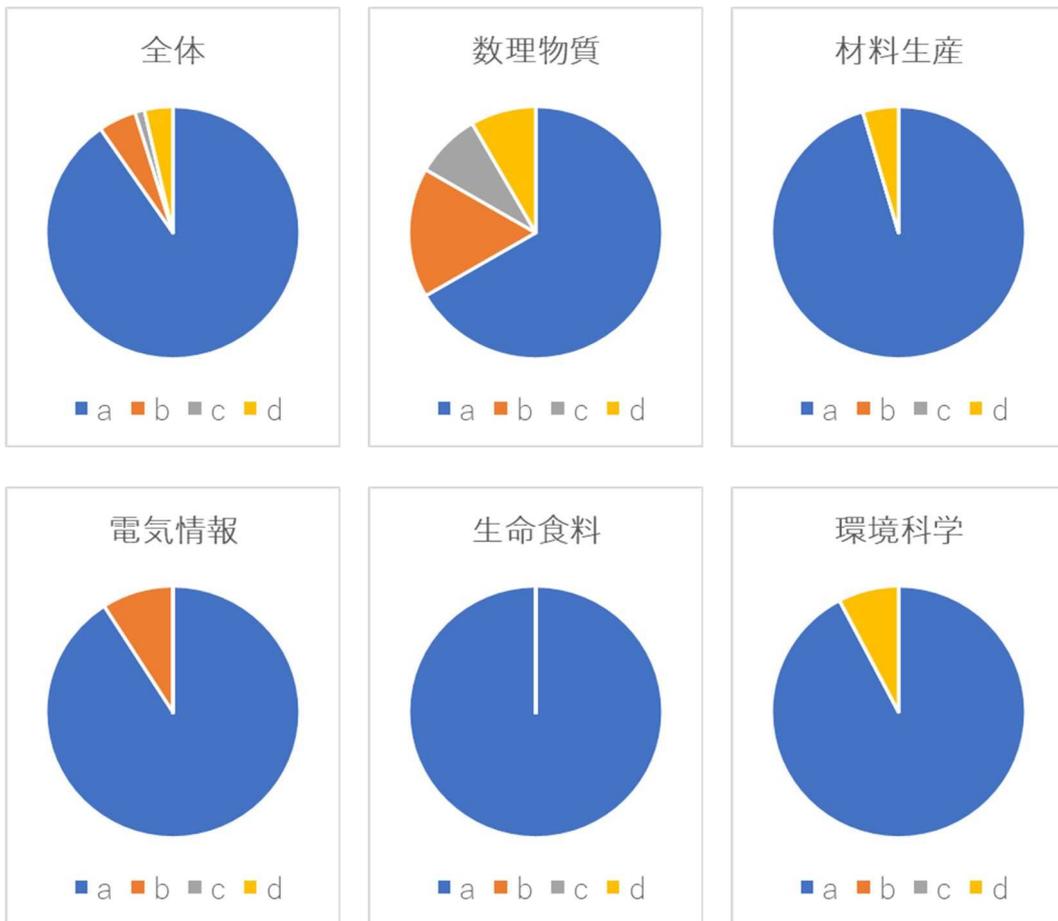


博士前期課程学生（3人目）が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:就職したい。(らしい)	8	21	20	14	12	75
b	2:新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。(らしい)	2	0	2	0	0	4
c	3:他大学大学院博士後期課程へ進学したい。(らしい)	1	0	0	0	0	1
d	4:未定(らしい)	1	1	0	0	1	3
e	5:知らない	0	0	0	1	2	3
f	6:いない	29	13	9	22	33	106

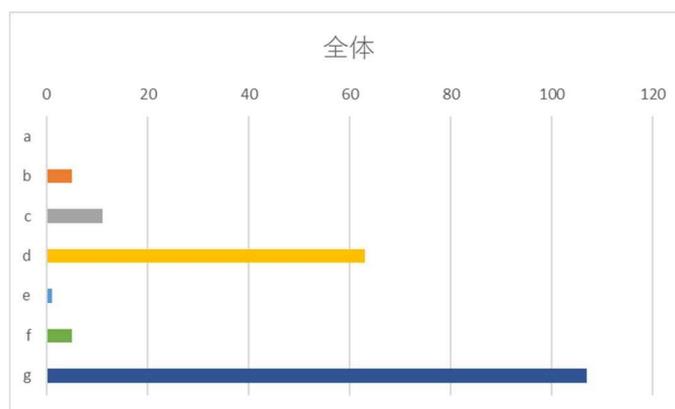


円グラフは「知らない」「いない」を除外した結果を表示

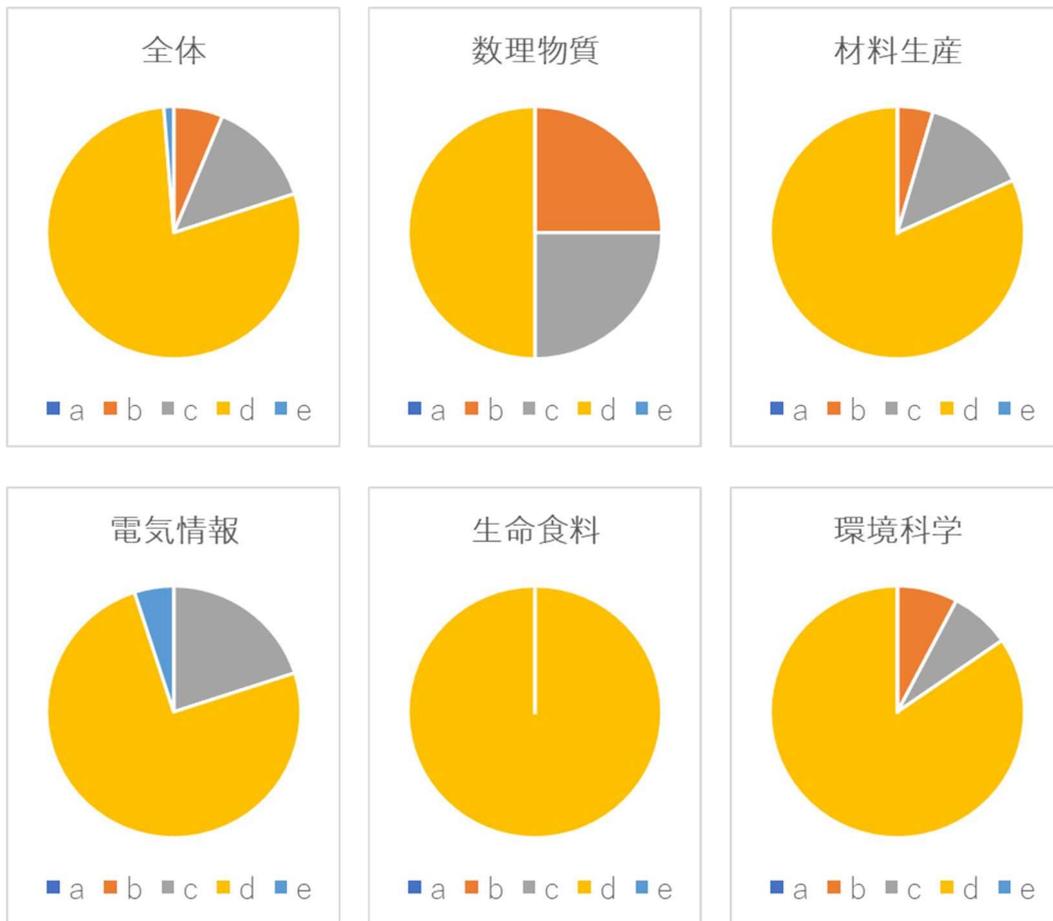


後期課程修了後の進路について、指導学生（3人目）の意思決定の度合い

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:とても迷っている。(らしい)	0	0	0	0	0	0
b	2:迷っている。(らしい)	3	1	0	0	1	5
c	3:あまり迷っていない。(らしい)	3	3	4	0	1	11
d	4:まったく迷っていない。(らしい)	6	18	15	13	11	63
e	5:まだ考えたことがない。(らしい)	0	0	1	0	0	1
f	6:知らない	0	0	2	1	2	5
g	7:いない	29	13	9	23	33	107



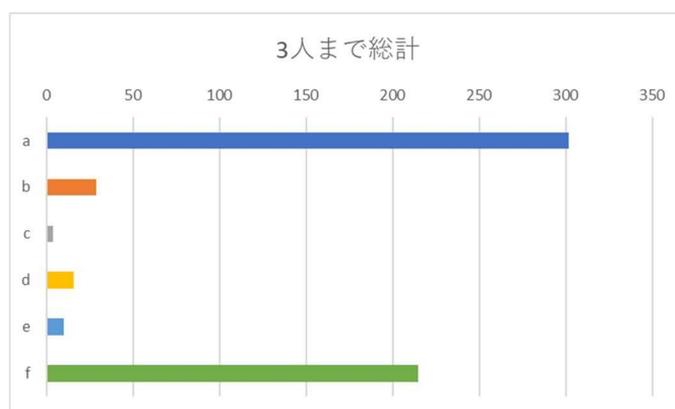
円グラフは「知らない」「いない」を除外した結果を表示



※3人までの総計

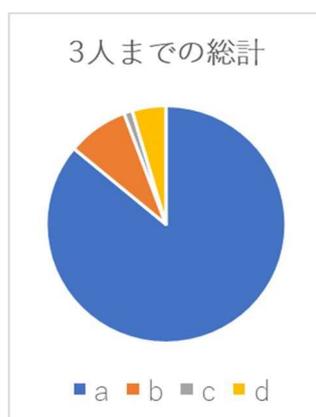
博士前期課程学生が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について

		3人までの総計
a	1:就職したい。(らしい)	302
b	2:新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。(らしい)	29
c	3:他大学大学院博士後期課程へ進学したい。(らしい)	4
d	4:未定(らしい)	16
e	5:知らない	10
f	6:いない	215



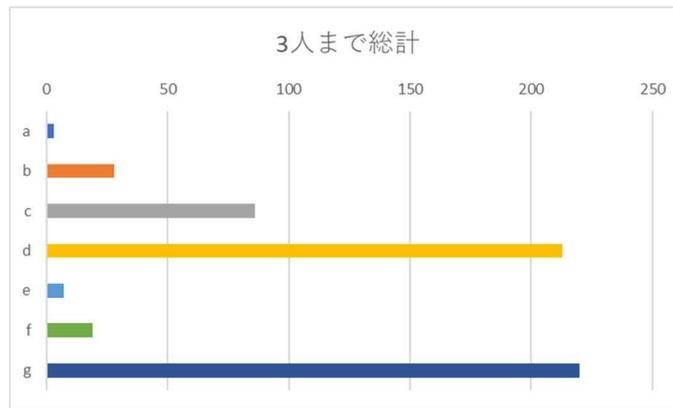
- 教員も大多数が就職を希望していると認識（86％）。
- 進学希望と予測しているのは9％。学生アンケートより若干多い。

【対応：学生アンケート P.2,3】



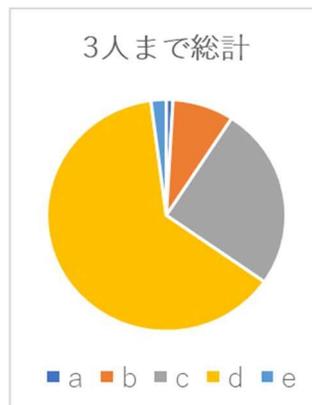
後期課程修了後の進路について、指導学生の意思決定の度合い

		3人まで総計
a	1:とても迷っている。(らしい)	3
b	2:迷っている。(らしい)	28
c	3:あまり迷っていない。(らしい)	86
d	4:まったく迷っていない。(らしい)	213
e	5:まだ考えたことがない。(らしい)	7
f	6:知らない	19
g	7:いない	220



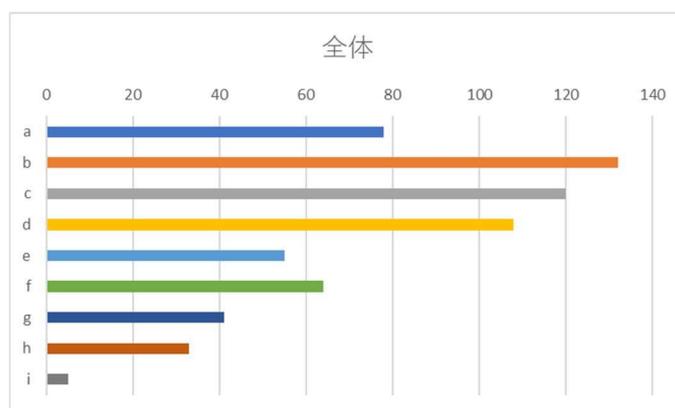
- あまり迷っていない・まったく迷っていないで89%を占める。学生の認識と一致。
- まったく迷っていないとの予測は、学生（48%）が考えているよりは高く、63%を占める。

【対応：学生アンケート P.4,5】



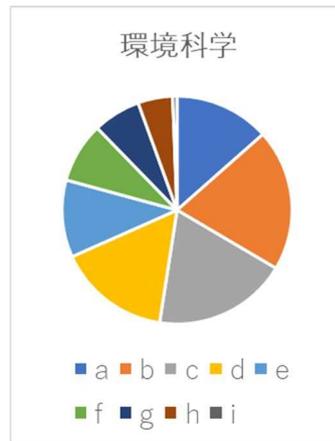
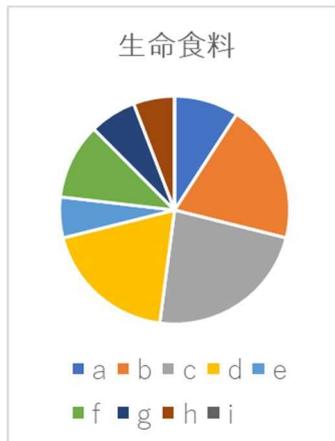
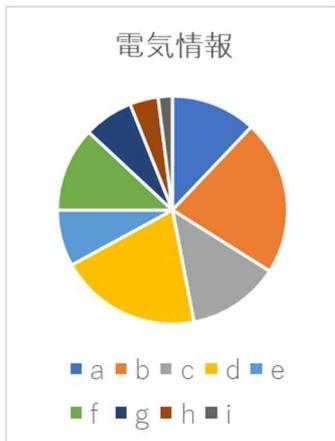
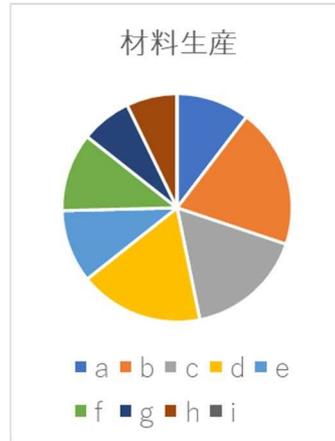
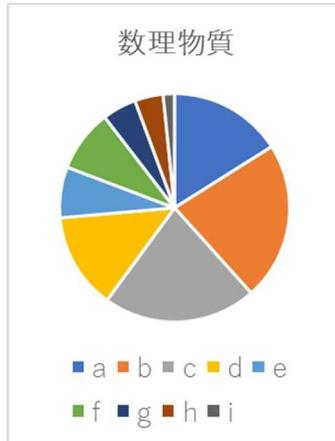
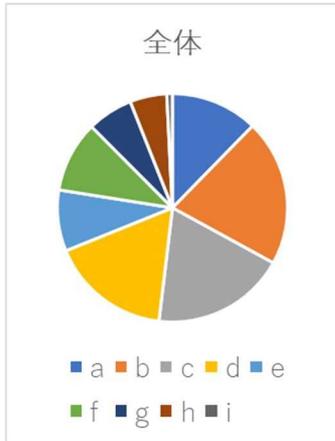
博士後期課程への進学を躊躇する理由について、先生ご自身のお考えを教えてください。

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	4:博士後期課程に求められているレベルを備えているか、向いているのが不安だから	20	13	12	11	22	78
b	3:進学することでさらにお金がかかるから	28	25	22	24	33	132
c	1:博士後期課程修了後、就職できるかどうか不安だから	27	21	13	28	31	120
d	5:博士後期課程に進学しても就職で有利になるイメージがないから	17	22	20	23	26	108
e	2:博士後期進学についての情報が少なく、進学後のイメージができないから	9	13	8	7	18	55
f	6:アカデミアに就職することに魅力を感じていないから	11	14	12	13	14	64
g	7:世の中（日本）でPhDそのものが評価されていないと思うから	6	9	7	8	11	41
h	8:その他	5	9	4	7	8	33
i	9:知らない	2	0	2	0	1	5



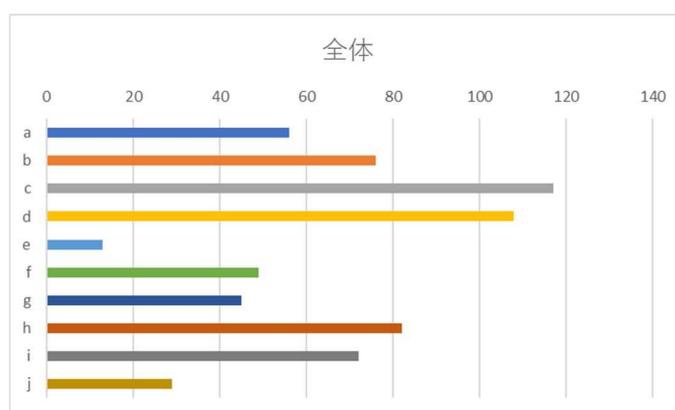
- 専攻別で顕著な差異はないと考えられる。
- 学生のトップが「自信」であったが、それに続く「お金」,「就職」は学生の認識と一致。

【対応：学生アンケート P.6,7】



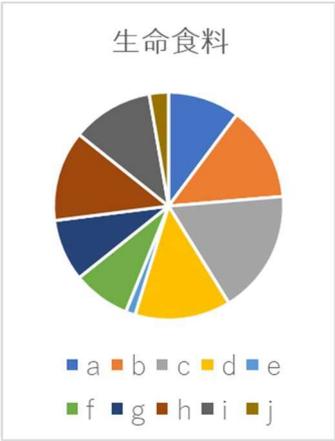
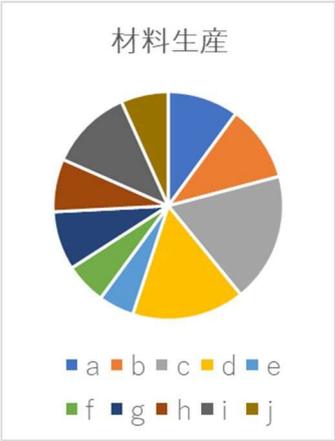
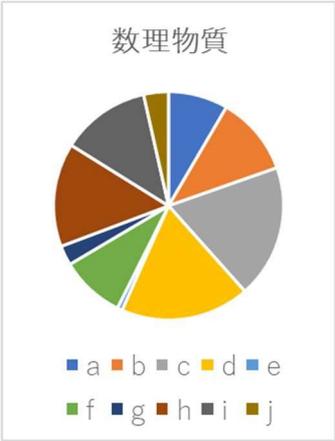
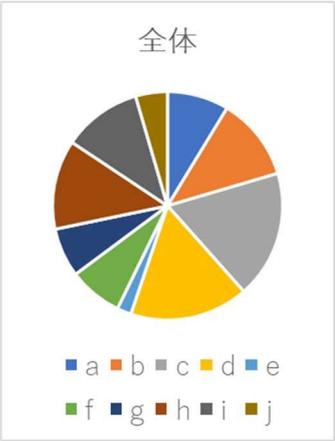
博士後期課程への進学を検討することに対して強く影響すると思う点を選択してください。

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	6:博士後期課程に進学して研究を継続することで、より成長できるから	12	12	5	15	12	56
b	4:接する教員が皆、魅力的かどうか	16	13	11	20	16	76
c	1:学部からの研究テーマが魅力的であり、博士前期課程を経て博士後期課程でもその研究を継続したいと思うかどうか	27	22	12	26	30	117
d	8:将来は、アカデミアでの活躍を希望するから	26	19	16	20	27	108
e	2:博士後期課程で、企業との共同研究をより経験したいと思うかどうか	1	6	3	2	1	13
f	5:接する先輩が皆、魅力的かどうか	13	7	6	12	11	49
g	7:就職活動に有利と考えるから	4	10	9	13	9	45
h	3:学部、博士前期課程での研究活動が充実したいと思うかどうか	21	9	10	19	23	82
i	9:周囲にそう選択する学生がいるから	18	14	11	17	12	72
j	10:その他	5	8	4	4	8	29



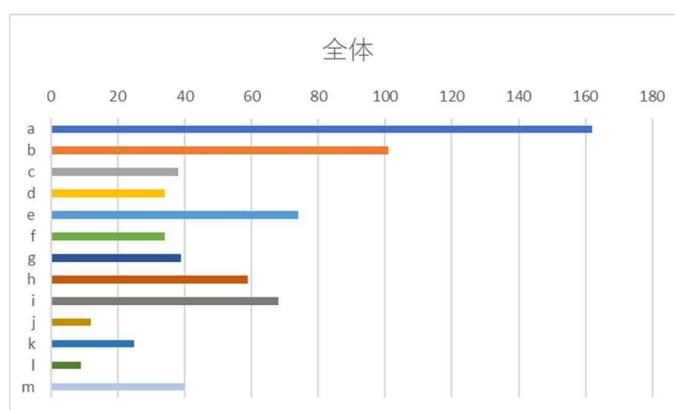
- 学生の回答数が少ないので、比較は難しい。
- 専攻による顕著な差異はないと考えられる。
- 「研究テーマが魅力的で研究の継続を希望」と「アカデミアでの活動を希望」がトップ。
- 「企業との共同研究」が顕著に低い。

【対応：学生アンケート P8～10】



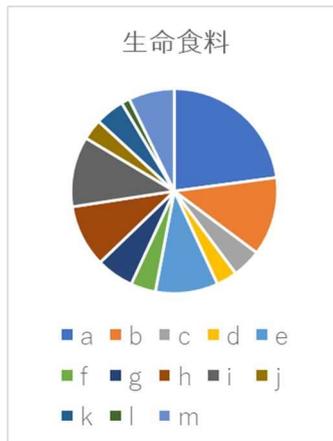
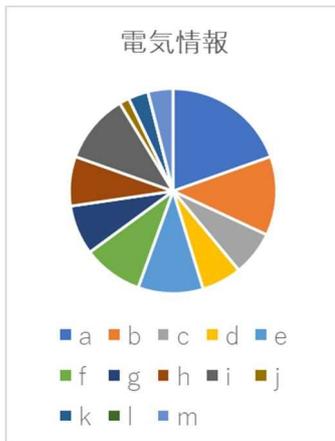
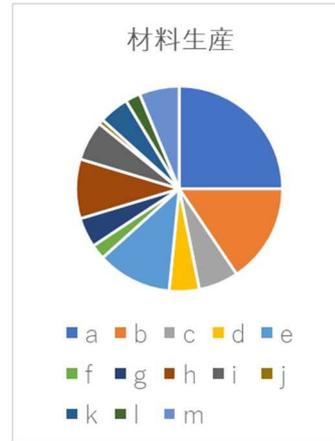
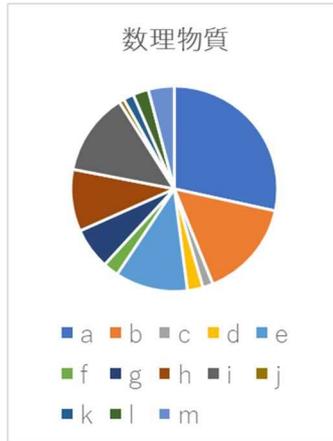
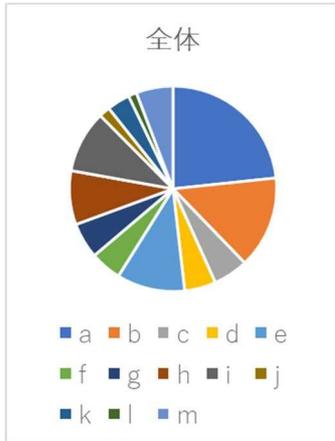
新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程が、今よりさらに魅力的になるためには？

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	7:博士後期課程学生に学費・生活費に対する経済的支援	35	32	25	35	35	162
b	11:博士後期課程に対応した就職支援の取り組み	19	20	16	19	27	101
c	8:博士後期課程学生が企業との関わりをもてる仕組みの整備（連携事業、共同研究、イン	2	8	9	7	12	38
d	1:博士後期課程学生が自分自身の研究について裁量をもつための支援	3	6	8	5	12	34
e	12:博士後期課程学生にとって身近なロールモデルや相談役の紹介	14	15	13	15	17	74
f	10:博士後期課程学生が社会との関わりをもてる仕組みの整備（学会・学術界以外の?般社	3	3	12	6	10	34
g	5:博士後期課程学生を受け入れるための教員側の意識改革	8	6	10	9	6	39
h	3:国際的な学術交流（海外での研究インターンシップ、海外の大学への留学、国際学会へ	12	12	10	15	10	59
i	6:博士後期課程学生が高度な教育・研究指導を受ける場の提供	16	8	14	17	13	68
j	4:博士後期課程学生の教育・研究上の目的に応じたカリキュラムの整備	1	1	2	5	3	12
k	2:博士後期課程学生を含めた分野・専攻を超えた学問交流・融合	2	6	4	7	6	25
l	9:博士後期課程学生が?学発ベンチャー企業で活動できる仕組みの整備	3	3	0	2	1	9
m	13:その他	5	8	5	11	11	40



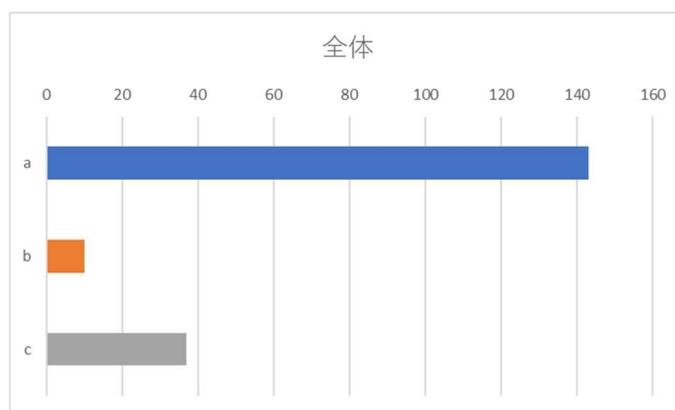
- 専攻による顕著な差異はないと考えられる。
- 「経済的支援」がトップ、続いて「就職支援」が来る点は学生の認識と一致。
- 「企業との関わり」、「研究に対する裁量」が学生の認識に比して低い。
- 「国際交流」、「教育・研究指導を受ける場の提供」は学生よりは高い。

【対応：学生アンケート P.12,13】



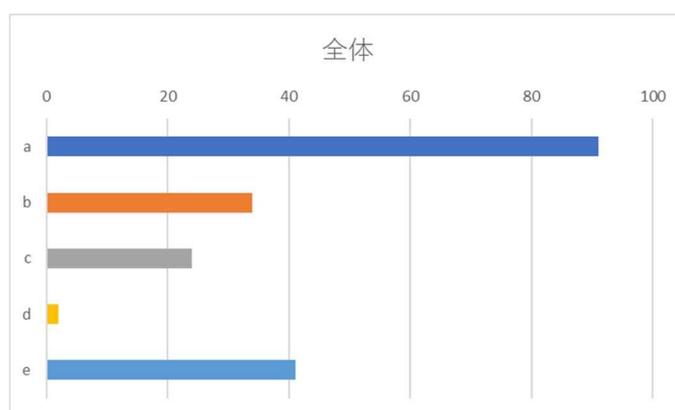
博士後期課程修了者が産業界（企業）へのキャリアアップをめざすことに対して、先生ご自身のお考えを教えてください。

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:キャリアアップをめざしてほしい	30	29	26	28	30	143
b	2:キャリアアップをめざすことには抵抗感がある	3	1	1	1	4	10
c	3:その他	8	5	4	8	12	37

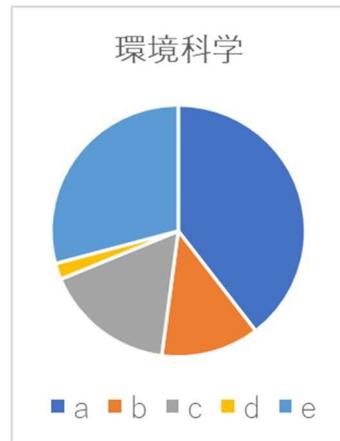
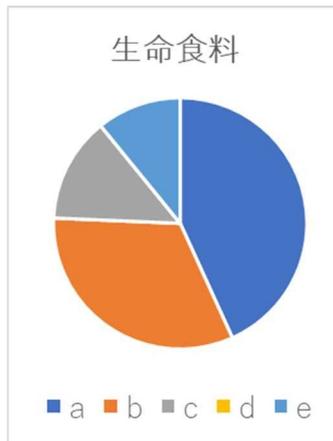
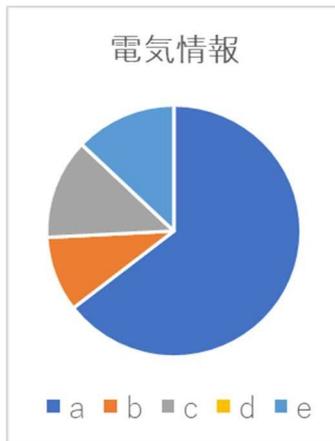
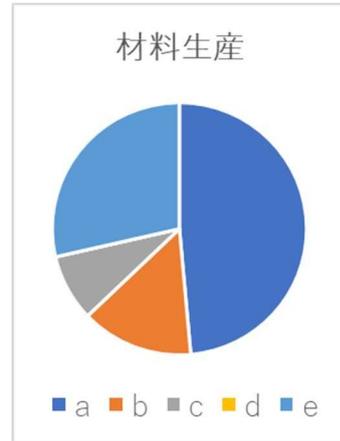
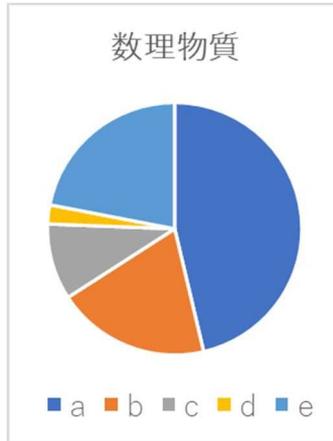
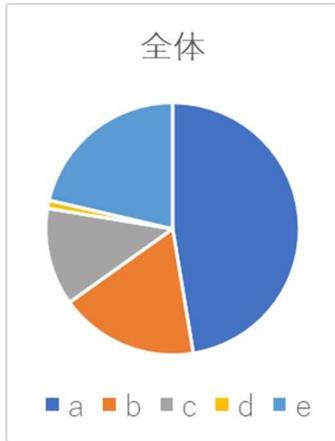


「フェローシップ創設事業」が本学でも始まりましたが、この事業について、先生ご自身のお考えを教えてください。

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	全体
a	1:良い事業であり、研究室学生に博士後期課程への進学を勧めたい	19	17	20	16	19	91
b	2:良い事業ではあるが、研究室学生に博士後期課程への進学を勧めることは考えない	8	5	3	12	6	34
c	3:必ずしも良い事業とは思えないが、研究室学生に博士後期課程への進学を勧める理由に	4	3	4	5	8	24
d	4:よい事業とは思えず、研究室学生に博士後期課程への進学を勧めることは考えない	1	0	0	0	1	2
e	5:その他	9	10	4	4	14	41



- フェローシップに関しては半数近くが肯定的であるが、良い事業と認めつつも勧めないという教員も18%いる。



タイトル 【9/30（木）まで】自然科学研究科から博士後期課程進学率向上へ向けた教員アンケートについて

見出し 自然科学研究科では、「博士後期課程進学者の増加」をテーマとして、各コースの代表者とのヒアリングと具体的な課題の抽出を検討しています。本アンケートはその課題抽出を目的として実施するものです。無記名ですが、集計されたデータは、後日、コース主任へ送付されます。その後、コース会議を経て、代表者がヒアリングを行う予定です。
なお、アンケートの締切日は、令和3年9月30日（木）となります。お忙しいと思いますが、ご協力よろしくお願いします。（操作時間目安 15～30分）

添付ファイル

**結果確認時
参照ファイル**

1:基本情報：先生ご自身の専攻名とコース名（系名）を教えてください。【22者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 数理物質科学専攻 物理学コース
2. 数理物質科学専攻 化学コース
3. 数理物質科学専攻 数理科学コース
4. 材料生産システム専攻 機能材料科学コース（物性系）
5. 材料生産システム専攻 機能材料科学コース（開発系）
6. 材料生産システム専攻 素材生産科学コース（応用化学系）
7. 材料生産システム専攻 素材生産科学コース（化学工学系）
8. 材料生産システム専攻 機械科学コース
9. 材料生産システム専攻 社会システム工学コース
10. 電気情報工学専攻 情報工学コース
11. 電気情報工学専攻 電気電子工学コース
12. 電気情報工学専攻 人間支援科学コース
13. 生命・食料科学専攻 基礎生命科学コース
14. 生命・食料科学専攻 応用生命・食品科学コース
15. 生命・食料科学専攻 生物資源科学コース
16. 環境科学専攻 自然システム科学コース
17. 環境科学専攻 流域環境学コース
18. 環境科学専攻 社会基盤・建築学コース（社会基盤系）
19. 環境科学専攻 社会基盤・建築学コース（建築系）
20. 環境科学専攻 地球科学コース
21. 環境科学専攻 災害環境科学コース
22. 環境科学専攻 フィールド科学コース

2:基本情報：先生ご自身の現在の職名を教えてください。【4者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 教授
2. 准教授
3. 助教
4. その他

3:博士後期課程進学の検討：先生ご自身が指導している博士前期課程学生（1人目）が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について教えてください。【6者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 就職したい。（らしい）
2. 新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）
3. 他大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）
4. 未定（らしい）
5. 知らない
6. いない

4:博士後期課程進学の検討：設問3の博士前期課程修了後の進路について、指導学生（1人目）の意思決定の度合いを教えてください。【7者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. とても迷っている。（らしい）
2. 迷っている。（らしい）
3. あまり迷っていない。（らしい）
4. まったく迷っていない。（らしい）
5. まだ考えたことがない。（らしい）
6. 知らない
7. いない

5:博士後期課程進学の検討：先生ご自身が指導している博士前期課程学生（2人目）が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について教えてください。【6者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 就職したい。（らしい）
2. 新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）
3. 他大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）
4. 未定（らしい）
5. 知らない
6. いない

6:博士後期課程進学の検討：設問5の博士前期課程修了後の進路について、指導学生（2人目）の意思決定の度合いを教えてください。【7者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. とても迷っている。（らしい）
2. 迷っている。（らしい）
3. あまり迷っていない。（らしい）
4. まったく迷っていない。（らしい）
5. まだ考えたことがない。（らしい）
6. 知らない
7. いない

7:博士後期課程進学の検討：先生ご自身が指導している博士前期課程学生（3人目）が現時点で予定している博士前期課程修了後の進路について教えてください。また、博士前期課程学生が4人以上いる場合は、設問9を利用して選択肢をご記入ください。【6者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 就職したい。（らしい）
2. 新潟大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）
3. 他大学大学院博士後期課程へ進学したい。（らしい）
4. 未定（らしい）
5. 知らない
6. いない

8:博士後期課程進学の検討：設問7の後期課程修了後の進路について、指導学生（3人目）の意思決定の度合いを教えてください。また、博士前期課程学生が4人以上いる場合は、設問9を利用して選択肢をご記入ください。【7者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. とても迷っている。（らしい）
2. 迷っている。（らしい）
3. あまり迷っていない。（らしい）
4. まったく迷っていない。（らしい）
5. まだ考えたことがない。（らしい）
6. 知らない
7. いない

9:博士前期課程の指導している学生が4人以上いる場合は、【例】のようにご記入ください。【例】4人目 進路1 意思決定4, 5人目 進路3 意思決定2, 6人目…。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

10:博士後期課程進学改善への取組み：指導学生が博士後期課程への進学を躊躇する理由について、先生ご自身のお考えを教えてください。【9者択9】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 博士後期課程修了後、就職できるかどうか不安だから
2. 博士後期進学についての情報が少なく、進学後のイメージができないから
3. 進学することでさらにお金がかかるから
4. 博士後期課程に求められているレベルを備えているか、向いているのかが不安だから
5. 博士後期課程に進学しても就職で有利になるイメージがないから
6. アカデミアに就職することに魅力を感じていないから
7. 世の中（日本）でPhDそのものが評価されていないと思うから
8. その他
9. 知らない

11:博士後期課程進学改善への取組み：設問10で「その他」を選択した先生にお伺いします。先生ご自身のお考えを教えてください。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

12:博士後期課程進学改善への取組み：博士前期課程修了後の進路として博士後期課程への進学を検討することに対して強く影響すると思う点を選択してください。【10者択10】(必須) ※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 学部からの研究テーマが魅力的であり、博士前期課程を経て博士後期課程でもその研究を継続したいと思うかどうか
2. 博士後期課程で、企業との共同研究をより経験したいと思うかどうか
3. 学部、博士前期課程での研究活動が充実したいと思うかどうか
4. 接する教員が皆、魅力的かどうか
5. 接する先輩が皆、魅力的かどうか
6. 博士後期課程に進学して研究を継続することで、より成長できるから
7. 就職活動に有利と考えるから
8. 将来は、アカデミアでの活躍を希望するから
9. 周囲にそう選択する学生がいるから
10. その他

13:博士後期課程進学改善への取組み：設問12で「その他」を選択した先生にお伺いします。先生ご自身のお考えを教えてください。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

14:博士後期課程進学改善への取組み：新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程が、今よりさらに魅力的になるためには、どのような活動や仕組みが必要だと思いませんか？【13者択13】(必須) ※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 博士後期課程学生が自分自身の研究について裁量をもつための支援
2. 博士後期課程学生を含めた分野・専攻を超えた学問交流・融合
3. 国際的な学術交流（海外での研究インターンシップ、海外の大学への留学、国際学会への参加、海外機関との共同研究）
4. 博士後期課程学生の教育・研究上の目的に応じたカリキュラムの整備
5. 博士後期課程学生を受け入れるための教員側の意識改革
6. 博士後期課程学生が高度な教育・研究指導を受ける場の提供
7. 博士後期課程学生に学費・生活費に対する経済的支援
8. 博士後期課程学生が企業との関わりをもてる仕組みの整備（連携事業、共同研究、インターンシップ）
9. 博士後期課程学生が大学発ベンチャー企業で活動できる仕組みの整備
10. 博士後期課程学生が社会との関わりをもてる仕組みの整備（学会・学术界以外の一般社会に向けた情報発信など）
11. 博士後期課程に対応した就職支援の取り組み
12. 博士後期課程学生にとって身近なロールモデルや相談役の紹介
13. その他

15:博士後期課程進学改善への取組み：設問14で「その他」を選択した先生にお伺いします。先生ご自身のお考えを教えてください。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

16:博士後期課程進学改善への取組み：博士前期課程修了後、新潟大学大学院博士後期課程へ進学してほしい学生に求める素養を具体的に教えてください。【記述式 200文字以内】(必須)

入力文字数：0文字

17:博士後期課程進学改善への取組み：博士後期課程修了者が産業界（企業）へのキャリアアップをめざすことに対して、先生ご自身のお考えを教えてください。【3者択1】(必須) ※最低1個の選択肢を選択してください。

1. キャリアアップをめざしてほしい
2. キャリアアップをめざすことには抵抗感がある
3. その他

18:博士後期課程進学率向上への取組み：設問17で「その他」を選択した先生にお伺いします。先生ご自身のお考えを教えてください。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

19:博士後期課程進学改善への取組み：博士後期課程学生にフェローシップ（生活費と研究費で200万円相当）を支給して、博士後期課程への進学者を増やし、アカデミアのみならず産業界へのキャリアアップをめざす「フェローシップ創設事業」が本学でも始まりましたが、この事業について、先生ご自身のお考えを教えてください。【5者択1】(必須) ※最低1個の選択肢を選択してください。

1. 良い事業であり、研究室学生に博士後期課程への進学を勧めたい
2. 良い事業ではあるが、研究室学生に博士後期課程への進学を勧めることは考えない
3. 必ずしも良い事業とは思えないが、研究室学生に博士後期課程への進学を勧める理由にはなる
4. よい事業とは思えず、研究室学生に博士後期課程への進学を勧めることは考えない
5. その他

20:博士後期課程進学率向上への取組み：設問19で「その他」を選択した先生にお伺いします。先生ご自身のお考えを教えてください。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

21:博士後期課程進学率向上への取組み：令和2年4月に経営戦略本部の下にPhDリクルート室が設置されました。同室に対してご意見やご要望がありましたら具体的に教えてください。【記述式 200文字以内】

入力文字数：0文字

22:博士後期課程進学率向上への取組み：その他、ご意見やご要望がありましたら具体的に教えてください。【記述式 1,000文字以内】

入力文字数：0文字
